

(別紙)

区分	クラス等	確認した事項・委員からのコメント等
保育内容	全体	「自然の中で子どもが子どもらしい子ども時代を生きること。そして、自然の中で発見し、学び、好奇心を持ち、感謝する。自分がやれることは自分でやる」という保育が実践されている。
保育内容	全体	五感をフルに使って遊び、自分がどうしたいかを考えて行動するので、けんかもやはり多いとのことであった。
保育内容	全体	生活の基本は、晴れていたら基本は外で遊ぶということ。
保育内容	全体	園庭では裸足か草履、または靴を使用するとなっている。
保育内容	乳児クラス	0歳クラスは動きやすいように、おむつは午睡時のみで、日中はパンツをはいて生活している。
保育内容	乳児クラス	午前寝（10時半ぐらいから、児童に合わせて1時間から1時間半）がある。
保育内容	全体	畑が中庭の奥にあり、そこで実ったものを自分で食べられるように取り組んでいる。
保育内容	幼児クラス	5歳クラスになると、新潟県の農村の協力も得て、1週間の米づくりの合宿を春と秋に実施している。 命を食べているという経験をして合宿から戻ってくる。
保育内容	全体	昔からの日本の伝統とか文化を大事にしていて、人として生きていく力、根づく力、生きていく力を養っていく保育に力を入れていたという印象であった。
保育内容	乳児クラス	おもちゃがほとんど無く、父母の手づくりのぬいぐるみ程度であった。
保育内容	乳児クラス	子どもたちの使う引き出しの名前が全部漢字で書いてある。平仮名の学習は、小学校に入ってからでよいとのことであった。
保育内容	全体	遊具に頼らず、五感を刺激するという保育方針であった。
保育内容	全体	おむつに関しては使っていないということで、散歩に行くときに大きなリュックを背負っていて、その中にやはりパンツや着がえがたくさん入っているととのことであった。 排せつの自立が早まるということより、「自分が濡れて気持ち悪い」ということがわかるのが大切だと思っているとのことであった。
保育内容	全体	小金井に比べ、割と散歩に出かける時間が遅い印象であったが、時間はたっぷりととっていた。
保育内容	一時	一時保育の定員は15人だが、それにプラスして0歳児は0歳児の部屋で1人を受けることが可能。ただ、0歳児はその年の在園の児童のクラスの状況で、春から受けられる年であれば、秋ぐらいから受けられるようになったり、そこは柔軟な運営を行っているとのことであった。
保育内容	一時	幼児の部屋の固定をしてないことが印象的であった。
保育内容	全体	「やりなさい」という声かけも、「やっちゃだめ」という声かけもしていなかった。
保育内容	幼児クラス	5歳児が思い思いに、しっかりと掃除をしていた。
保育内容	全体	散歩では、何かの遊具を使って遊ぶということではなく、途中途の駐車場とかちょっとした空き地のスペースなどに一回一回寄りながら、子どもたちが思い思いにその場の空間を利用して遊んでいるというところが印象的であった。
保育内容	全体	園ではわらじを推奨し、先生もわらじを履いていた。
保育内容	幼児クラス	交差点や道路では、先生方は本当に注意して、「ここを通りなさい」という形で指導していたが、それ以外のところはほとんどダッシュで走っている感じで、本当に我々も走らされた感じであった。 先生方は本当に大変という印象で、2人で19人の児童数を確認している状況であった。
保育内容	幼児クラス	児童は、思い思いに自分たちで遊ぶことを心得ていた。
保育内容	幼児クラス	昼食の時間も、12時過ぎであり、小金井よりは若干遅めであった。

区分	クラス等	確認した事項・委員からのコメント等
保育内容	幼児クラス	遊び方を見ている、お散歩に行く途中のところを見ても、「大丈夫かな」って思うような場面があったが、地域の個性、住民の方の理解などを前提として成り立っているという印象を持った。
保育内容	幼児クラス	お散歩に行く前もトイレに行かず、決まった時間にトイレをさせてないということがあり、また、草履でも靴でもよいし、帽子も被らなくてもよいし、手もつながないし、すごく自由な姿勢だという印象を持った。
保育内容	幼児クラス	アレルギーを持つ児童の給食についても、配慮をしているとのことであった。
施設	全体	自然環境にすごく恵まれている。園舎は木の温かみと、床、天井、窓も木枠で全部ガラスが張ってあって、そこが全部オープンに開けてある状況がすばらしい。
施設	全体	机や椅子も全て木製であり、注文製作なので、すごく使いやすいもので統一されていた。
施設	全体	各クラスに木製のお風呂が設置されていた。
施設	全体	木材がふんだんに使われていて、落ちつく雰囲気がある。戸を開けると、広い土間のような玄関があって、そこからホールにつながり、広いテラスがあるなど、すごく開放的であった。
体制等	幼児クラス	2階の職員室の隣の奥には、先生用のシャワー室があった。
給食	乳児クラス	食事については、おなかですべて自分で食べることを大事にしている。
給食	全体	食事は和食が中心で、週に3回から4回は魚とのこと。その中に少し肉を使用した献立がある。
給食	全体	全部陶器の食器で、食具を使わず手づかみで食べている児童もいた。
給食	乳児クラス	0歳児は3人だったが、保育士も一緒に食べていた。
給食	乳児クラス	食具については1歳7、8カ月ごろから使うことが多いけれども、練習とかではなく、その子が持ちたいと思ったときに持たせればよいという考えで対応している。
給食	全体	給食は、小金井では全部配膳されてから食べているが、おかず等を配膳された順で食べていた。意図としては、「(先に食べることにより)野菜をきちんと食べてもらいたい」ということであった。
体制等	全体	しっかりと職員が配置されていることが確認できた。
体制等	全体	散歩のときに手をつなぐ、帽子も全員が被っていないなど、割と自由な保育を実施しているという印象を持った。
体制等	全体	臨床心理士が配置されており、保護者と職員のカウンセリングも行い、地域の方のカウンセリングも行っていたことは素晴らしいと思う。 散歩のときには子どもたちの行動観察を行っていた。
体制等	全体	調理員の方も正規職員であり、きちんとした雇用のもとで安定して働いているという印象であった。
体制等	幼児クラス	職員の働き方は、単純に非正規の人も、フルタイムか午前か午後かという感じで、安定している印象をもった。
その他	乳児クラス	子どもたちが、運動能力が高いという印象を持った。
その他	全体	保護者の理解のもと、保育が成り立っているという印象であった。
その他	全体	方針とか理念とかを打ち出し、それに賛同・理解する保護者が子どもを預け、職員もそういうところで働きたいという意欲を持つ者が集まってくるとのことであった。
その他	全体	父母会については、話し合い自体は年2、3回ぐらい、運営委員会の開催程度とのことであった。、運動会はかなり父母が手伝い、父母会と共催でお祭りを開催するなど、父母との協力が大きい印象であった。また、ぬいぐるみ等は父母が作製しているとのことであった。絵本の修繕も父母が行っている印象であった。
その他	幼児クラス	わらしこ保育園自体が、最初、父母の有志から始まった共同保育所ということもあり、父母との連携というのもしっかりとされている。